

③合わせる楽しさを味わう表現活動

一定の拍にのって演奏するために、最初はゆっくりとした速さで行い、徐々に早めの速さにしていく。また、太鼓のリズムは、一人一人がつくり、掛け声は全員で決め、一人一人のリズムと掛け声の順番を考えたり、組み合わせ方を工夫したりしながら、一つのまとまり（音楽）としていく。始めや終わり、途中に入る掛け声もつくり、全体で合わせることで、世界にたった一つの音楽として表現し、みんなでつくりあげる楽しさを味わわせていく。

6 題材の指導計画と評価計画（1 / 2 時間）

	○学習活動	・指導上の留意点 ☆評価【 】〈方法〉
	〈ねらい〉 太鼓のリズムを選択し、自分の太鼓のリズムやおまつり風の掛け声をつくり、拍にのって表現する。	
1 本 時	<p>○太鼓のリズムを提示し、手遊びをする。</p> <p>○リズムカードを4枚選び、おまつりの太鼓のリズムをつくる。</p> <p>○各自のリズムをつなげてグループの音楽をつくる。</p> <p>○「おまつりわっしょい」の掛け声をつかって掛け声のリズムをつくる。</p>	<p>・リズムカードを提示する。</p> <p>・リズムカードを4枚選択し、自分オリジナルの太鼓のリズムをつくるように指導する。</p> <p>・各自がカードを選びリズムをつくってから、グループで合わせるよう促す。</p> <p>・オリジナルのリズムつくることが困難な児童に対しては、友達のまねをするように助言したり、リズムカードを参考にしたりして選ぶことができるように支援する。</p> <p>☆リズムを組み合わせでつくった音楽を即興的に演奏している。 【音楽表現の技能】〈演奏表現〉</p> <p>・全員がリズムをつくれたことを確認してから、全体の掛け声のリズムをつくるようにする。</p> <p>・拍の流れにのって表現することが困難な児童に対しては、拍を感じる動作を一緒にしたり、子供の意欲を引き出すよう励ましの声かけをしたりして支援する。</p> <p>☆太鼓のリズムやその組み合わせに興味関心をもち、拍にのってすすんで音楽づくりに取り組んでいる。 【音楽への関心・意欲・態度】〈行動観察・演奏表現〉</p>
	〈ねらい〉 グループで相談しながら、組み合わせや順番を工夫し、自分たちの「おまつりの音楽」をつくって楽しむ。	
2	<p>○グループで相談しながら、太鼓のリズムと掛け声の組み合わせや順番を考え、オリジナルのおまつりの音楽をつくる。</p> <p>○互いに聴き合い、表現を高める。</p>	<p>・既習曲の復習とおまつりの映像、音源を活用する。</p> <p>・音楽づくりのものの復習をする。</p> <p>・グループ内で順番や掛け声を入れた組み合わせを考えさせる。</p> <p>・CDに録音し、自分たちの音楽を聴き、客観的に捉えたり考えたりできるような支援をする。</p> <p>・グループの工夫ができたら、お互いに聴き合うようにする。</p> <p>・友達の良いところをさがし、自分たちの演奏に生かすように促す。</p> <p>☆リズムの違いを聴き取り、その組み合わせが生じる面白さを感じ取りながら、自分なりの発想をもって組み合わせや音の出し方を工夫している。 【音楽表現の創意工夫】〈演奏表現・発言〉</p>